

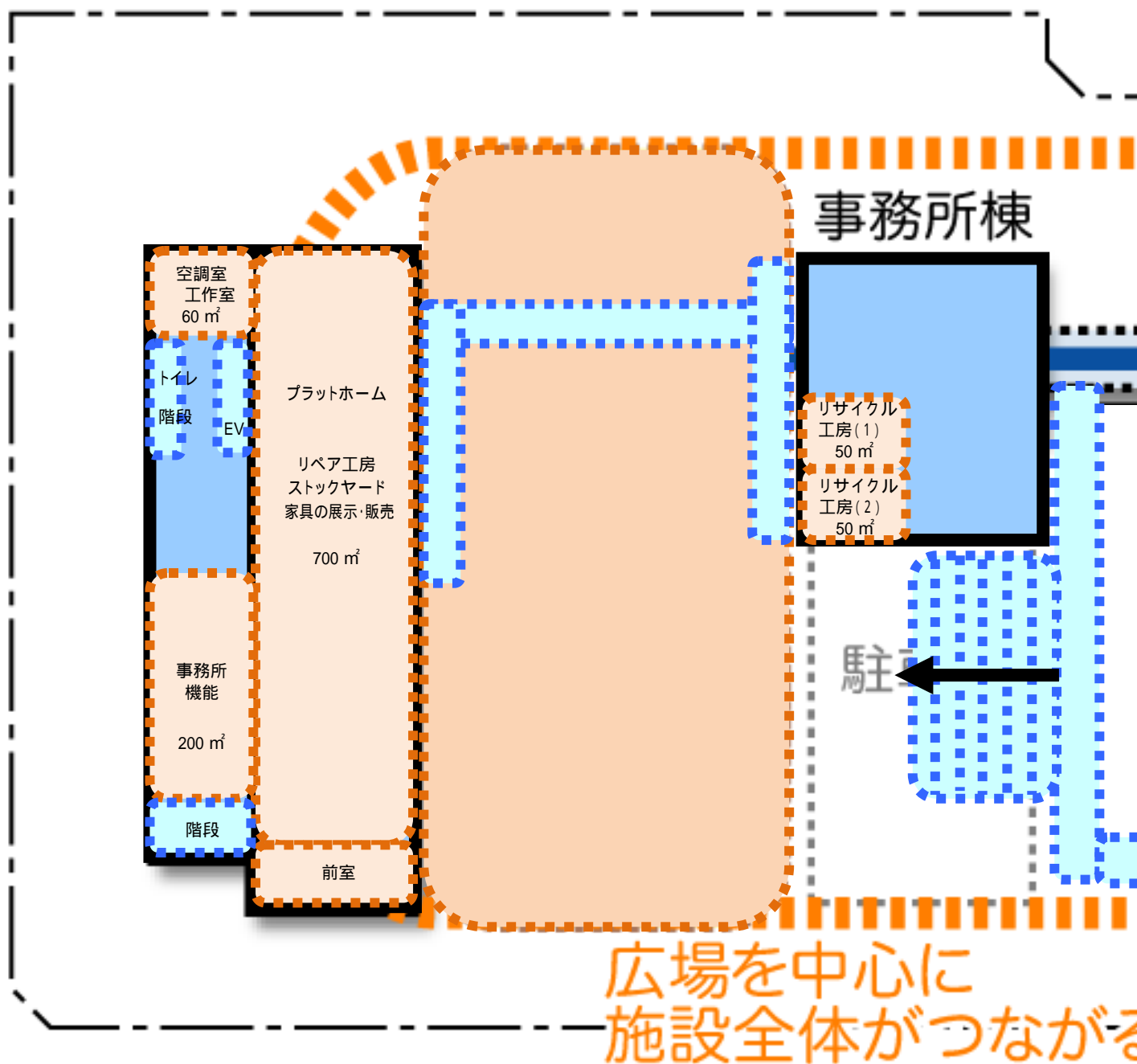
平成 24 年 7 月 24 日

施設・周辺整備協議会（第 6 回資料）

‘エコセンター(仮称)’と‘エコプラザ(仮称)’スペース検討図

‘エコセンター（仮称）’と‘エコプラザ（仮称）’スペース検討図

1 F



エコプラザ（仮称）

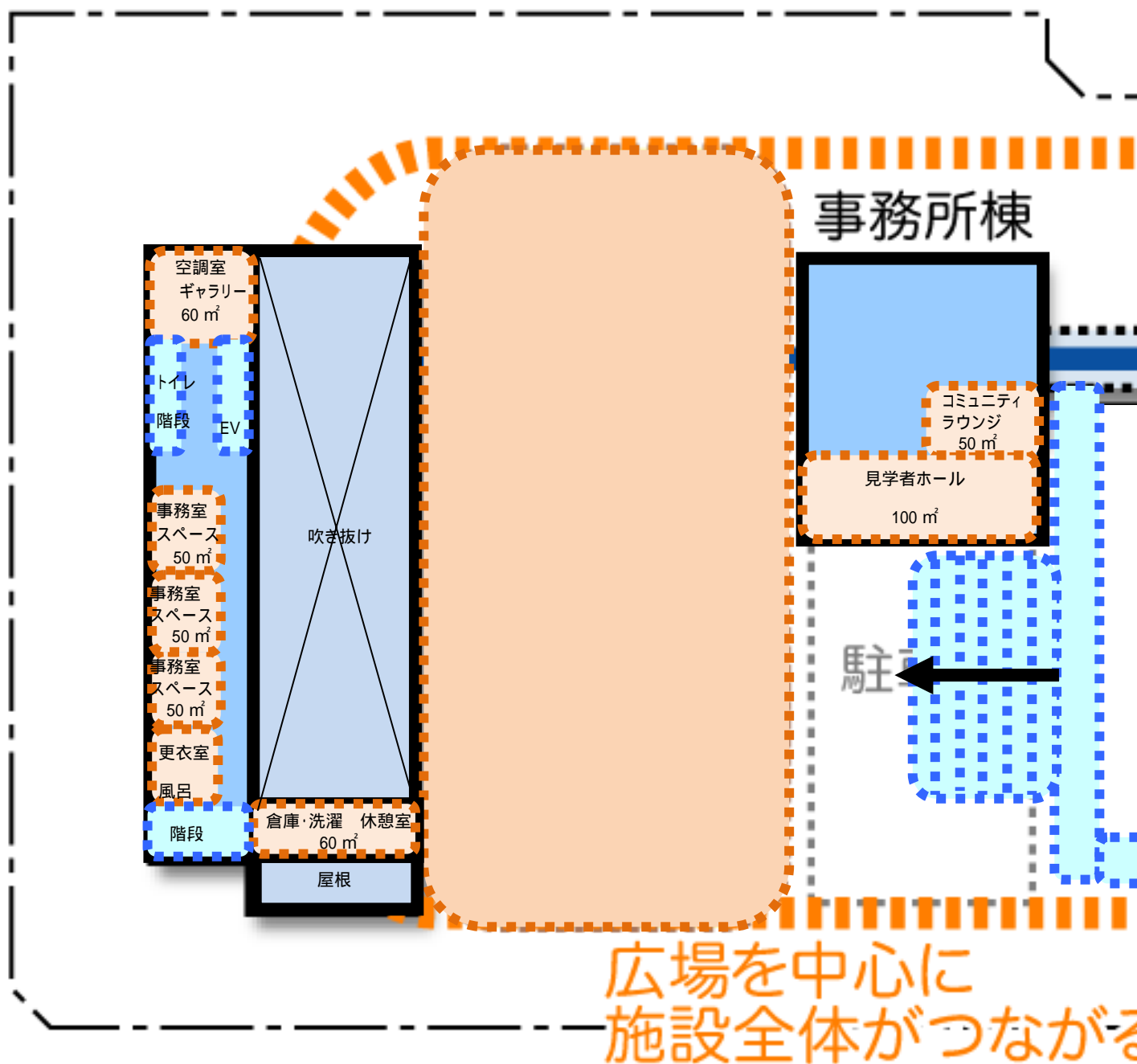
室名（現状）	m ²	想定使用内容（例）
プラットフォーム	700	リペア工房、ストックヤード、家具の展示・販売
空調室	60	工作室、工具室（スペース）
事務所	200	事務所機能確保のためのスペース

エコセンター（仮称）事務所棟

室名	m ²	想定使用内容（例）
リサイクル工房（1）	50	都市鉱山開発事務所
リサイクル工房（2）	50	自転車再生工房、子どもリサイクル工房+おもちゃのかえっこ...

‘エコセンター（仮称）’と‘エコプラザ（仮称）’スペース検討図

2 F



エコプラザ（仮称）

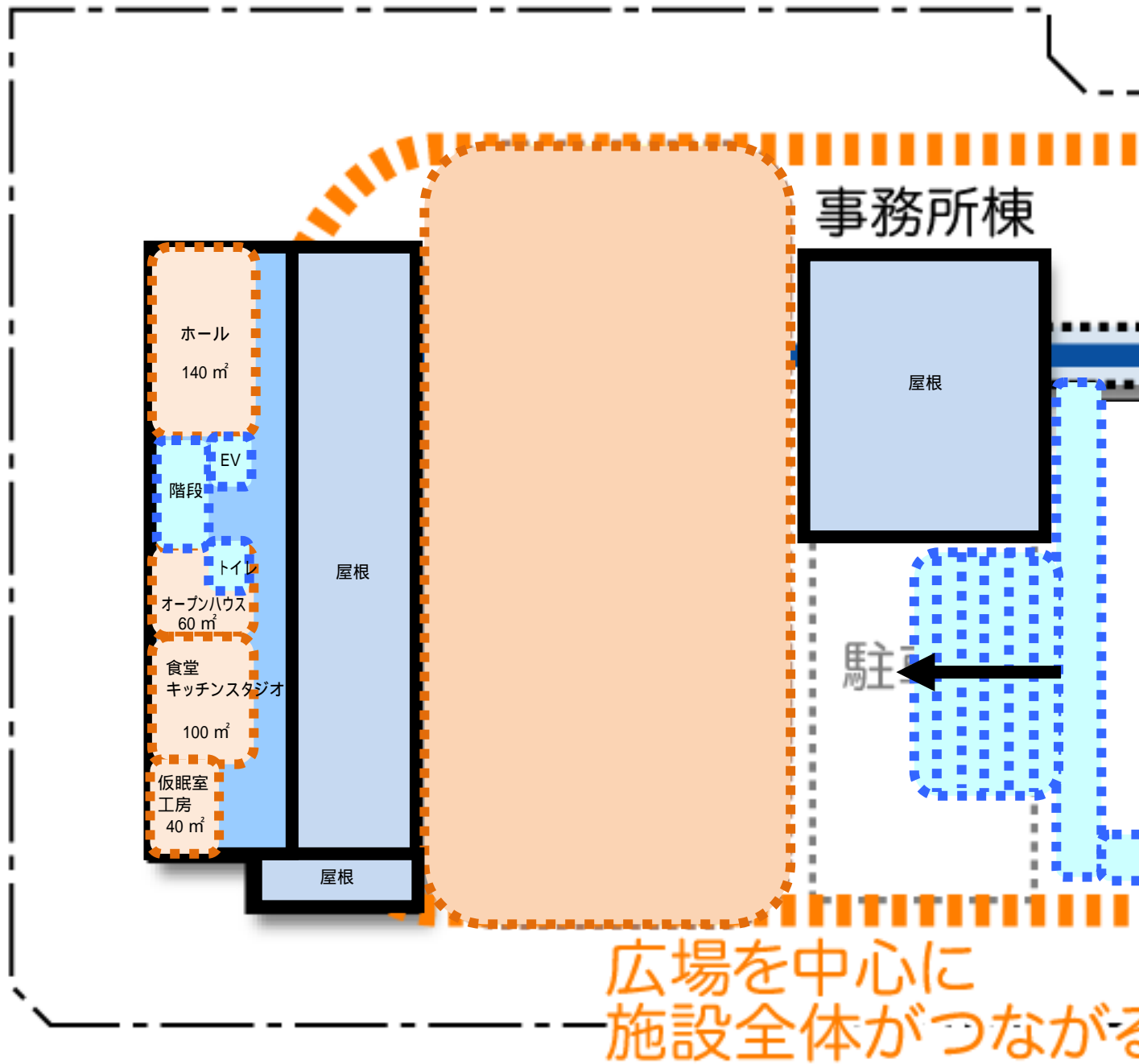
室名（現状）	m ²	想定使用内容（例）
事務室	各 50	リサイクル工房（スペース） ~
空調室	60	ギャラリー（スペース）
倉庫・洗濯場	60	休憩室（作業者の休憩の場）
更衣室・風呂	50	作業者の更衣室、風呂

エコセンター（仮称）事務所棟

室名	m ²	想定使用内容（例）
見学者ホール	100	見学者対応等
コミュニティラウンジ	50	環境サロン、コミュニティカフェ、

‘エコセンター（仮称）’と‘エコプラザ（仮称）’スペース検討図

3 F



エコプラザ（仮称）

室名（現状）	m ²	想定使用内容（例）
ホール	140	環境関係の講座・イベント対応
オープンハウス	60	環境関係の図書資料、環境講座
食堂	100	キッチンスタジオ（エコクッキング、コミュニケーションを促すスペース...）
仮眠室	40	リサイクル工房（スペース）

‘エコセンター（仮称）’ と ‘エコプラザ（仮称）’ の連携イメージ

敷地内でのつながりをもったデザイン

施設の全体性、連続性

- ・施設内で一体的に連続感のある施設構成とする。
- 施設をつなぐイベント広場
- ・敷地中央にあるイベント広場（仮称）との有機的な連携をもったデザイン
- 施設管理
- ・施設管理面でも人にやさしい計画とする。

煙突

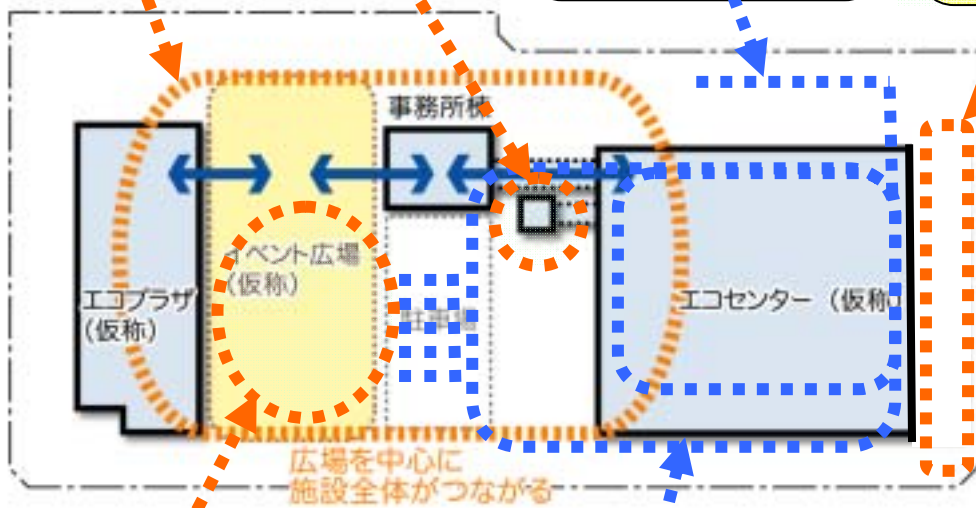
- ・煙突のデザイン
- ・煙突の緑化
(グリーンタワー)

北側デッキ

- ・野球が見えるデッキ
- ・フリーマーケット
- ・人の姿が見える

コミュニティスペース

- ・イベント
- ・フリーマーケット
- ・プラットフォームがのぞける窓



イベント広場

- ・足湯
- ・フリーマーケット
- ・子どもの自由な遊び場

デッキ、見学者コース

- ・ごみ処理やリサイクルの仕組みが楽しみながら理解できる展示施設や見学コース
- ・フリーマーケット
- ・花見が楽しめる

「エコセンター（仮称）」と「エコプラザ（仮称）」と緑町コミュニティセンターの機能の補完

緑町コミュニティセンターの見取り図、施設の詳細

* 武蔵野市コミュニティセンターガイドより抜粋

見取り図

1階平面図

2階平面図

施設の詳細

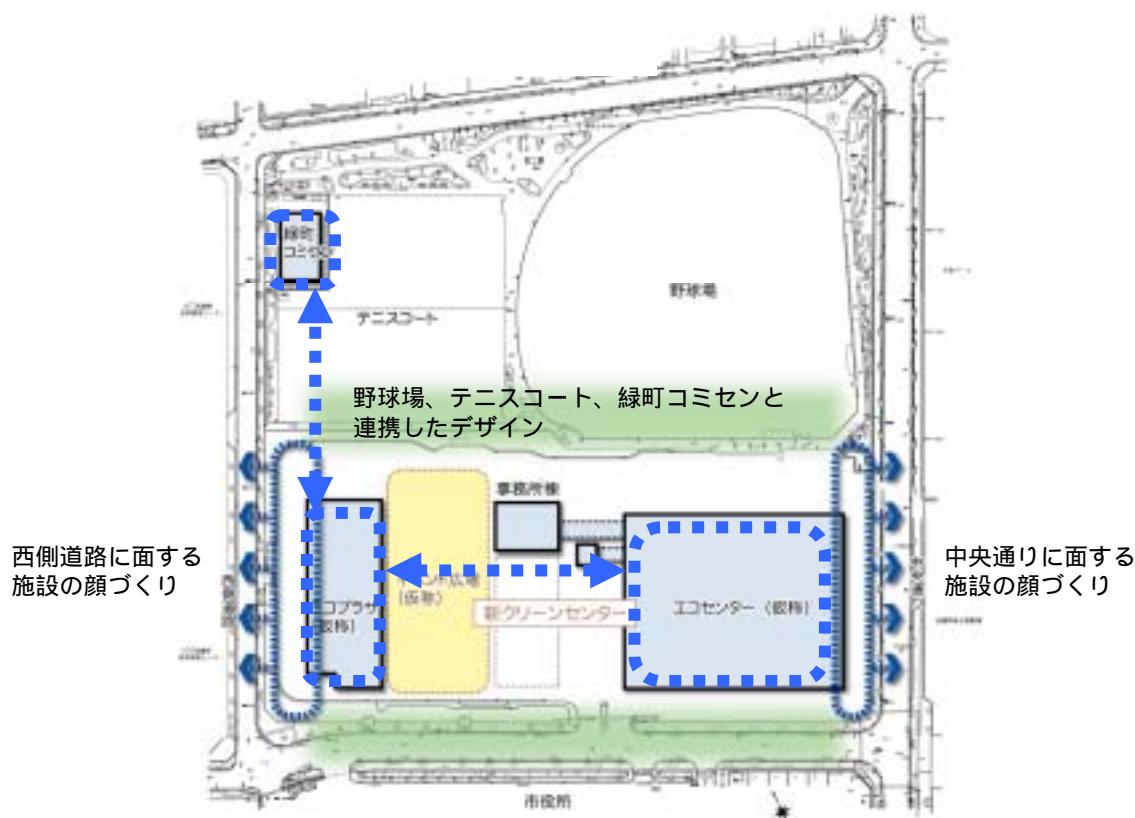
1階

部屋	広さ	収容人数	申し込み
調理室	44.3㎡	15	要予約
プレイルーム	44.3㎡	10	フリー
ホール	87.5㎡	40~100	フリー
緑町ギャラリー			要予約

敷地面積：587㎡
建物面積：296㎡
延床面積：544㎡

2階

部屋	広さ	収容人数	申し込み
和室（さくら）	12.5畳	20	要予約
和室（ふじ）	15畳	30	要予約
ステージ			
音楽室	44.3㎡	20	要予約
図書室	29.7㎡	12	フリー
会議室	20.9㎡	16	要予約



1. 緑町コミュニティセンターの機能（施設と事業・活動）

* 武蔵野市コミュニティセンターガイドをもとに作成

部屋	事業・活動			通常の運営形態
	行事・趣味・文化	防災・防犯	環境	
全館	地域ふれあいまつり（地域の諸団体と連携）、子どもまつり（24年初）	防災訓練（館内）	グリーンパートナー事業	
調理室	手打ちうどん教室、外国料理講習会、お菓子作り			
プレイルーム	卓球親睦会（ホールも利用）			卓球台あり ホールと一体利用可
ホール	新春住民のつどい、子どもと大人の輪投げ大会、子どもクリスマス会、手工芸、歌声ひろば、利用者懇談会、健康講座（市共催）		フリーマーケット、環境とくらし展示会	フリー利用 半面の予約可 掲示スペース（ギャラリー）あり
和室	芸能お楽しみ会、親子広場（市共催）			ステージあり
音楽室	サマーコンサート、クラブ発表会（24年度初）			ピアノ、カラオケあり
図書室	パソコン学習会			フリー利用
会議室				
館外	ウォーキング、どんど焼き、バス研修会、コミセンだより発行	地域福祉防災訓練	落葉堆肥づくり、雨水利用	

2. 緑町コミュニティ協議会に対する評価

* 「第三期コミュニティ評価委員会報告書」（平成24年1月）より抜粋

運営の工夫・利用者（住民）の満足度の向上

- * グリーンパートナーとして、エコなコミセンとして、雨水利用・グリーンカーテン・フリーマーケット等の実施と情報提供をしている。
- * 地域の諸団体との連携の主なものは、緑懇和会・緑町3丁目町会等と合同まちづくりウォッチング、地域通貨の活用による商店会との連携、千川小・大野田小・第四中との交流、大野田福祉の会・千川地域福祉の会への参加、防犯協会との防犯パトロールなどが挙げられる。
- * 地域で子どもを見守っているため、中学生の行事への参加や学習室の利用が多い。文化祭や地域ふれあいまつりにおいては、ふじの実保育園、シルバーシティ武蔵野から作品の展示があり、地域の生きがいとなっている。
- * 2階へ上がるのが困難な方や和室の利用が不便な方のために、自由来所型の1階ホールの半面を予約可能にしたところ利用者が増えた。ハード面の不便さをソフト面でカバーしている。

協議会が活動の中で認識している課題

- * 窓口担当者の意思疎通 * こどもの遊び場、居場所の工夫 * 若い世代の方が入ってこない。
- その他
- * 地域の企業を取り込みたいと考えている。
- * 利用者のうちコミセンの主催・共催事業に参加している人は42%、団体利用は69%。和室の利用率は低い、音楽室の利用率は高い。